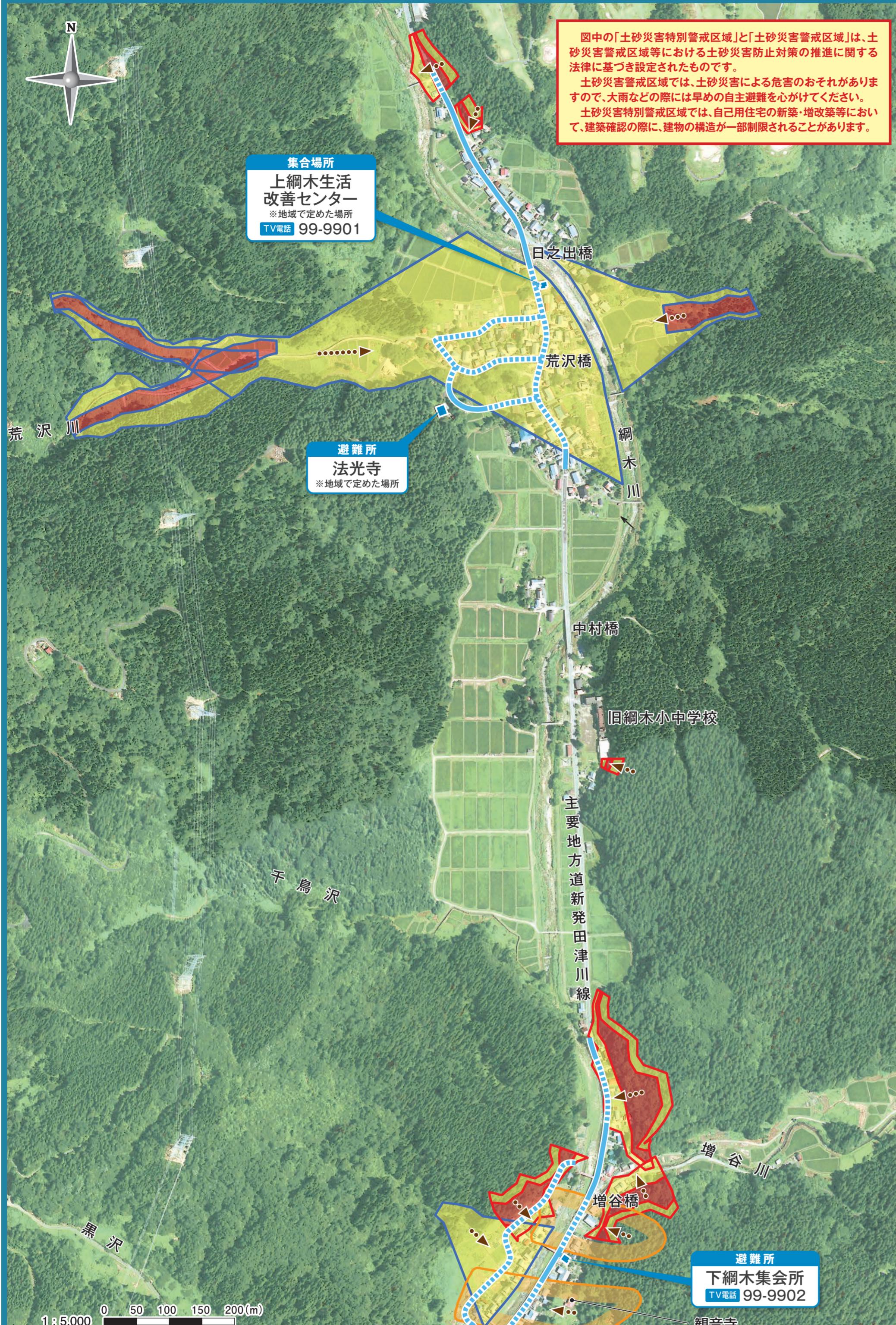


三川・綱木区 土砂災害ハザードマップ



土砂災害の種類と兆候

土石流

土石流は、山腹や渓流に堆積していた土石が長雨や集中豪雨によって、一気に下流へ押し流される現象。



がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)

地中にしみこんだ水分が土の抵抗を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方方に移動する現象。



前兆現象

- 渓流の流水が急激に濁り、流木などが混ざっている
- 降雨が続いているにもかかわらず、水位が急激に減少し始める
- 近くで山崩れ、土石流が発生している
- 渓流付近の斜面が崩れ始め、落石などが発生している

前兆現象

- 斜面にはらみが見られる
- 斜面に亀裂ができる
- 小石が斜面からバラバラと落ち出す
- 斜面より異常な音が聞こえ出す
- 地下水の急激な変化(枯渇や急増)が見られる
- 落石や小崩壊の発生が見られる

避難するためには

■テレビ・ラジオから大雨警報・土砂災害警戒情報が発表されたとき

家の裏側の渓流や斜面に注意し、異常が見られたら急いでその場から離れてください。

早期避難を心がけましょう

土砂災害は、いつどこで起こるかを正確に予測するのは難しいため、土砂災害から命を守るために、少しでも日頃と比べておかしいなと感じるような時には早めの避難が重要です。またそのような場合には役場等への連絡をお願いします。

■阿賀町役場から避難準備情報が発令されたとき

家の裏側の渓流や斜面に異常が見られたら急いでその場から離れてください。家族との連絡や貴重品・重要物等の非常用持出品を用意して避難の準備をしてください。

■阿賀町役場から避難勧告が発令されたとき

指定された避難所等へ至急避難してください。

■阿賀町役場から避難指示が発令されたとき

避難されていない人は、早急に避難所等に避難してください。もし逃げ遅れたり、避難が困難な場合は、できるだけ斜面から離れた部屋や2階へ移動するなど、命を守る行動をとってください。

凡例

土砂災害警戒区域(土石流)



土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)



土砂災害警戒区域(地すべり)



土砂災害特別警戒区域



避難所等



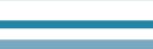
避難路



避難路(警戒区域内を通る避難路)

かけ下で避難する場合はかけ崩れに注意しましょう!

土砂のおおよその移動方向



新潟県ホームページでの 土砂災害に関する情報提供

土砂災害警戒情報システムのホームページ

【パソコン】

<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/index.html>

【携帯電話】

http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou_m/

雨量に関する情報や土砂災害発生の危険度などを見る事が出来ます。



【土砂災害危険度メッシュ図】

【土砂災害危険度判定図】

～土砂災害警戒情報とは～

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険性が高まったときに、市町村長が住民へ避難勧告等を適切に行えるように支援するとともに、住民自らの避難判断にも参考となるよう新潟県と気象庁が共同で発表する情報です。

豪雨時及び災害発生時の連絡方法

砂防課

危機対策課

津川地区振興事務所 TEL.92-4748

阿賀町役場 総務課 TEL.92-3113

阿賀町消防本部 TEL.92-0119

【情報収集】

- 河川水位
- 降雨状況
- 浸水被害
- 土砂災害前兆

【告知放送】

- インターネット広報車等

【阿賀町消防団】

- 巡回活動
- 被害状況の把握

【区長】

【住民】

- 自らの身を守るために「日頃の備え」と「早めの避難」を心がけましょう。
- 土砂災害の前兆現象を発見したら、避難するとともに役場などへ連絡してください。
- 気象情報などに注意し、自ら進んで情報を入手しましょう。

緊急時の連絡先

我が家への避難場所:

電話番号:

連絡先

阿賀町役場(代表)

92-3111

阿賀町役場 三川支所

99-2311

津川地区振興事務所

92-4748

阿賀町消防本部

92-0119

津川警察署

92-0110

家族の連絡先と避難時のメモ

この土砂災害ハザードマップに関するお問い合わせ先

阿賀町 総務課 TEL.92-3113

〒959-4495 阿賀町津川580番地